

2022年度 第1四半期

決算資料

2022年8月4日

株式会社 TBS ホールディングス

2022年度 第1四半期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 株式会社TBSホールディングス 財務戦略局 IR部

Tel : 03-3746-1111 (代表) HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

2022年度 第1四半期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

2022年度 第1四半期決算

- ▶ 連結全体では増収減益。
- ▶ メディア・コンテンツ事業では、テレビ部門のタイム・スポット収入が減収したものの、配信事業やTBSテレビの事業部門が伸長したことで増収。
一方で、番組制作費の増加等により減益。
- ▶ ライフスタイル事業では、感染症に伴う自粛要請解除による人流回復等により増収増益。
- ▶ 不動産・その他事業では、収入面は賃料収入が増加した一方で、修繕費の増加が上回り増収減益。

2022年度 業績見通し

- ▶ 第1四半期での業績予想の修正はありません。

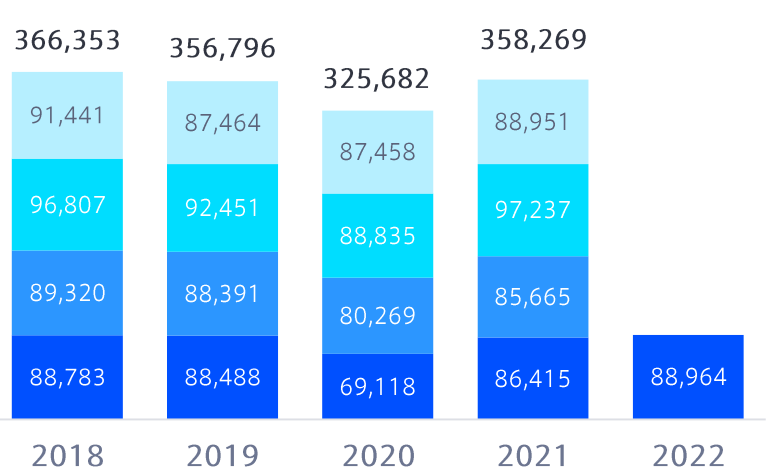
第1四半期 連結損益計算書

メディア・コンテンツ事業では、テレビ部門のタイム・スポット収入が減収したものの、配信事業やTBSテレビの事業部門が伸長したことで増収。一方で、番組制作費の増加等により減益。ライフスタイル事業では、感染症に伴う自粛要請解除による人流回復等により増収増益。連結全体ではメディア・コンテンツ事業の影響が大きく、増収減益。

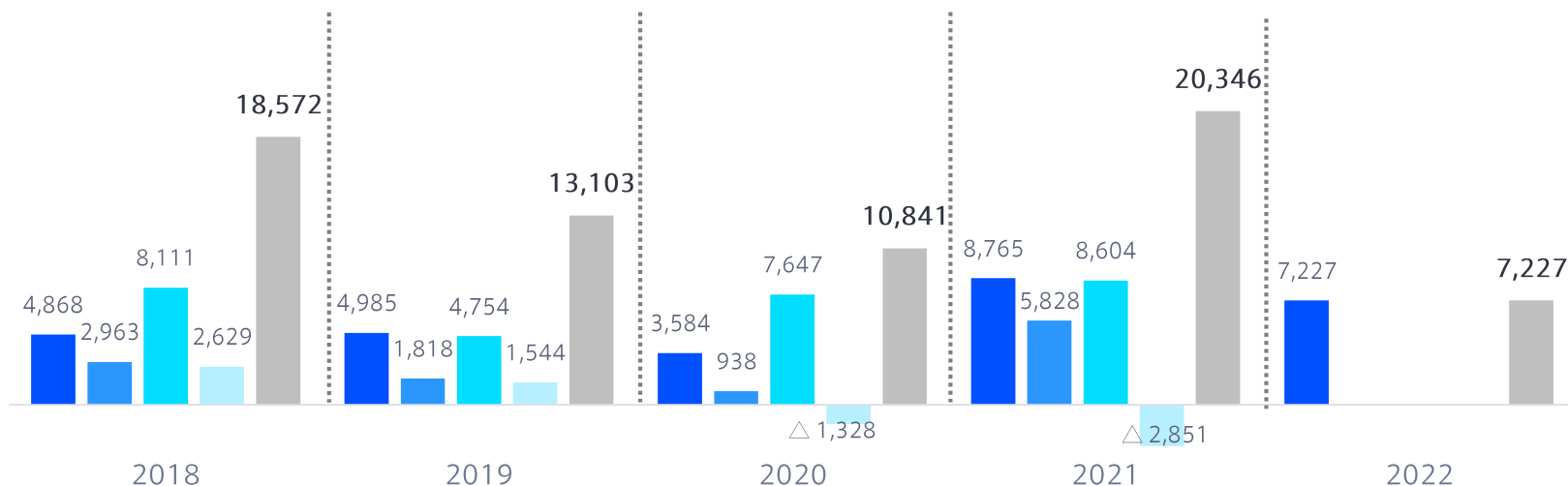
(単位：百万円)

連結	2021年度 1Q(4-6月)	2022年度 1Q(4-6月)	前年差	増減率
売上高	86,415	88,964	+2,549	+3.0%
営業利益	8,765	7,227	△1,537	△17.5%
経常利益	12,488	13,794	+1,305	+10.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,139	7,599	△540	△6.6%

売上高 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



(単位：百万円)

	外部売上				営業利益			
	2021年度 1Q (4-6月)	2022年度 1Q (4-6月)	前年差	増減率	2021年度 1Q (4-6月)	2022年度 1Q (4-6月)	前年差	増減率
メディア・コンテンツ	68,230	68,827	+597	+0.9%	6,216	4,260	△1,956	△31.5%
ライフスタイル	14,234	16,098	+1,864	+13.1%	533	1,009	+475	+89.1%
不動産・その他	3,950	4,038	+87	+2.2%	2,014	1,946	△68	△3.4%
調整額	—	—	—	—	0	11	+10	—
連結	86,415	88,964	+2,549	+3.0%	8,765	7,227	△1,537	△17.5%

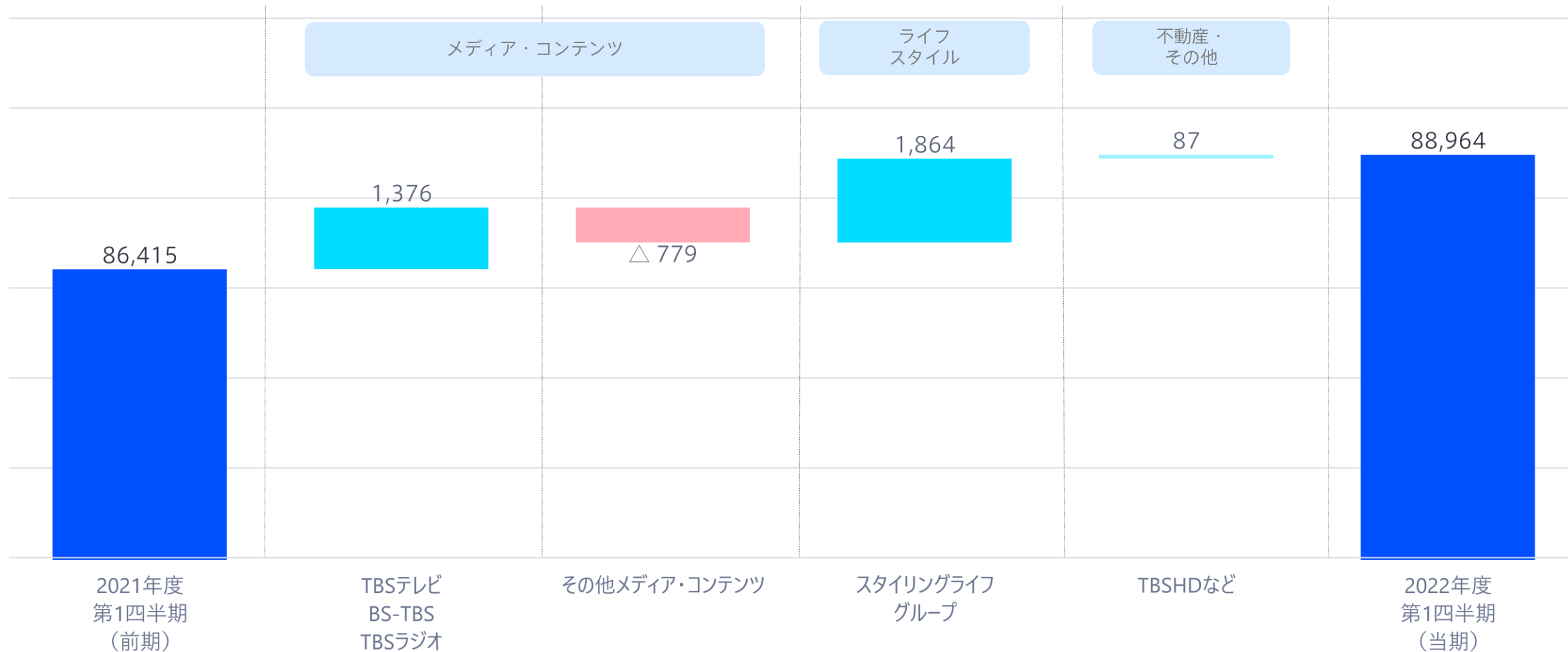
増減要因	外部売上	営業利益
メディア・コンテンツ	TBSテレビ (+1,073) マンガボックス (+619) BS-TBS (+304) TBSグロウディア (△850) 日音 (△182)	TBSテレビ (△825) TBSスパークル (△229) TBSグロウディア (△222) TBSアクト (△220)
ライフスタイル	スタイリングライフグループ (+1,864)	スタイリングライフグループ (+475)
不動産・その他	TBS HD (+137) TBSヘクサ (△39)	TBS HD (+42) 赤坂熱供給 (△38) TBSテレビ (△30)

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業では、テレビ部門のタイム・スポット収入が減収したものの、配信事業やTBSテレビの事業部門が伸長したことで増収。ライフスタイル事業も自粛要請解除による人流回復等により増収となり、連結全体では増収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

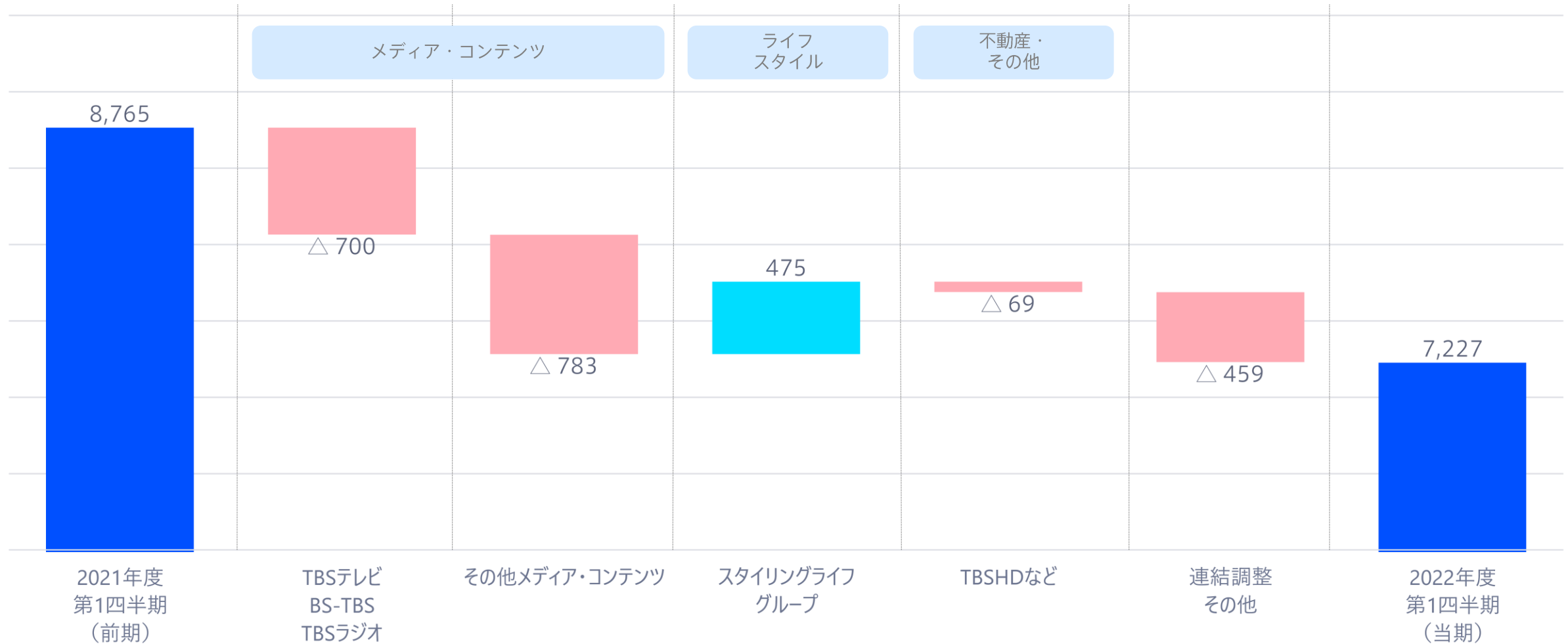


連結セグメント別 営業利益の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業は、番組制作費の増加等により減益。
 ライフスタイル事業は、自粛要請解除による人流回復等により、増収に伴う増益となったものの、連結全体では減益。

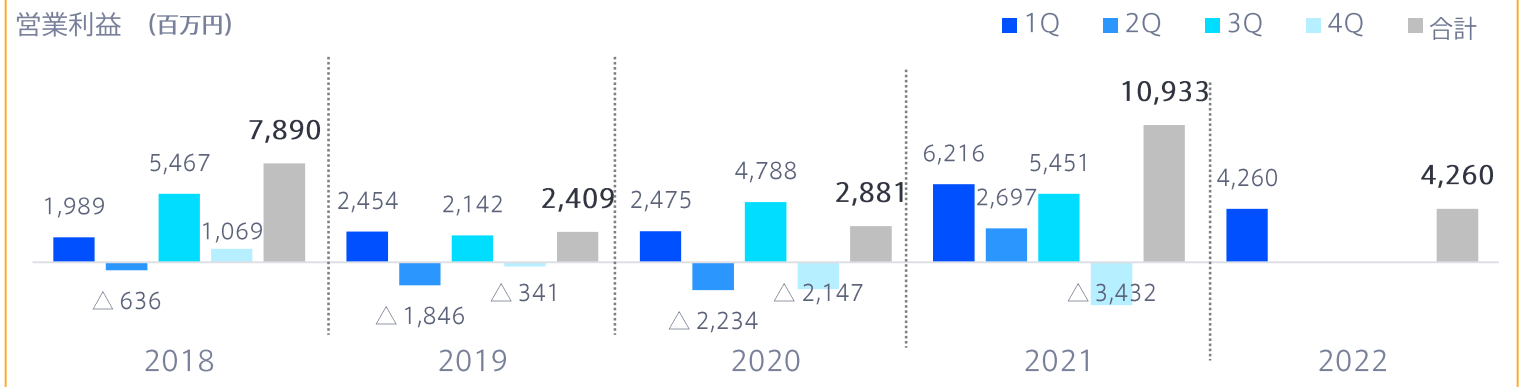
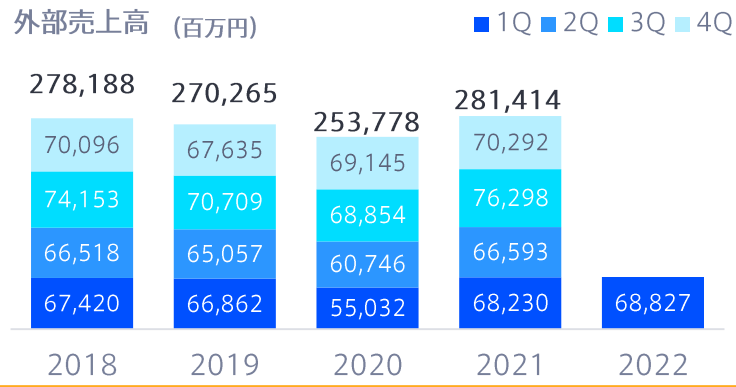
■ 営業利益 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

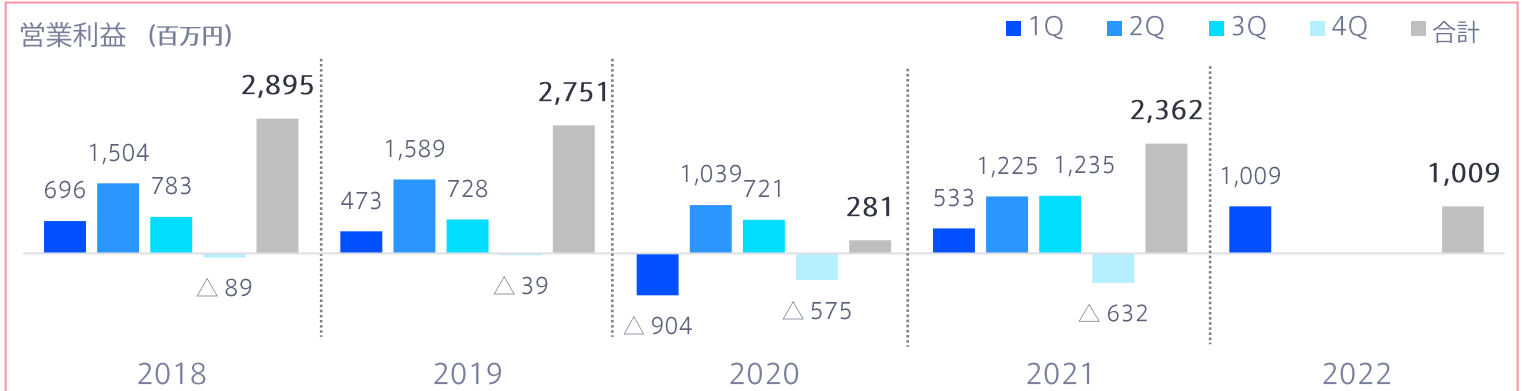
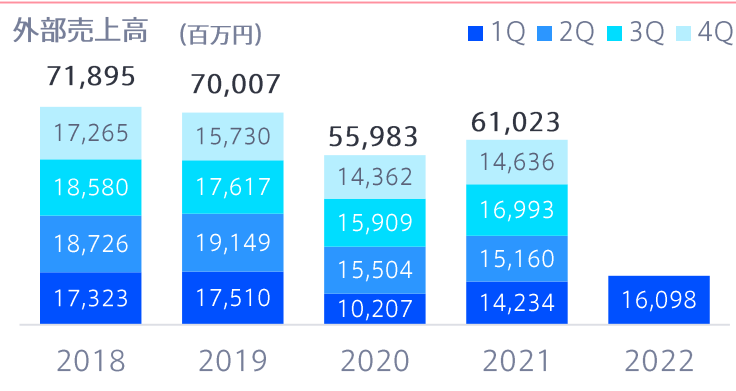


連結セグメント別 経年推移

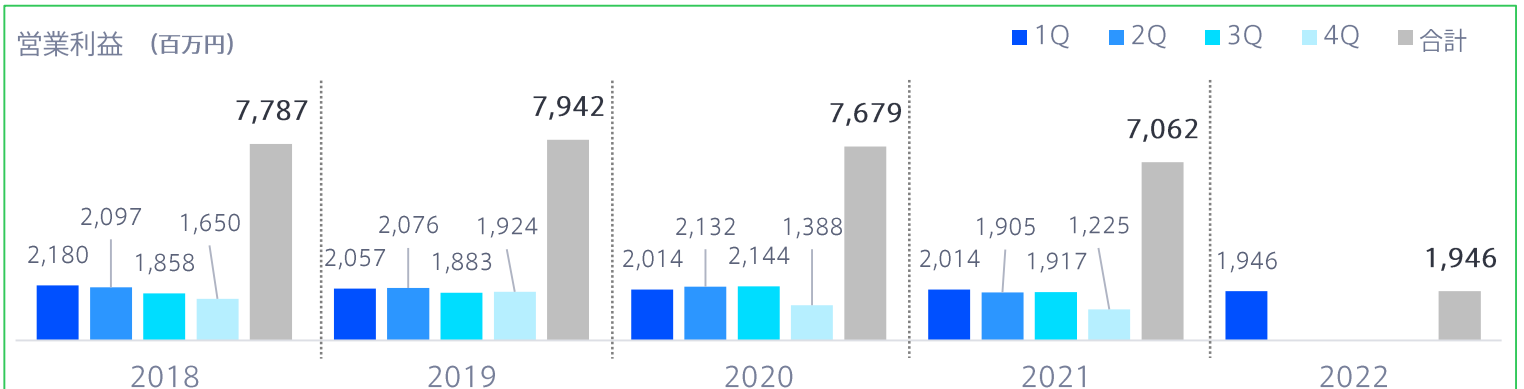
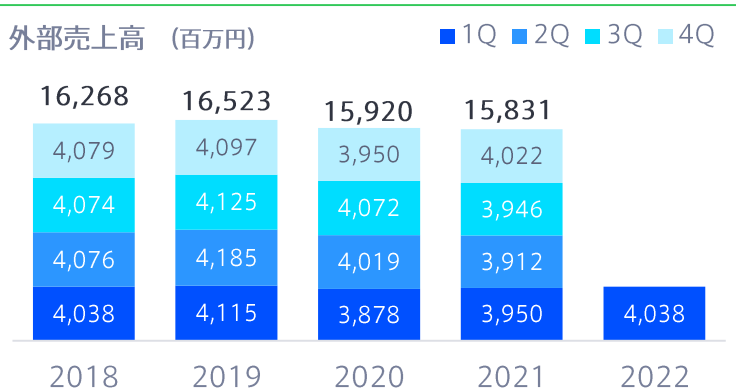
メディア
コンテンツ



ライフ
スタイル



不動産
その他

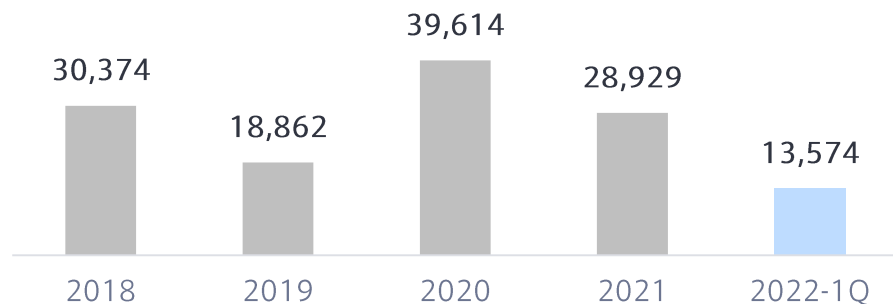


設備投資と減価償却費

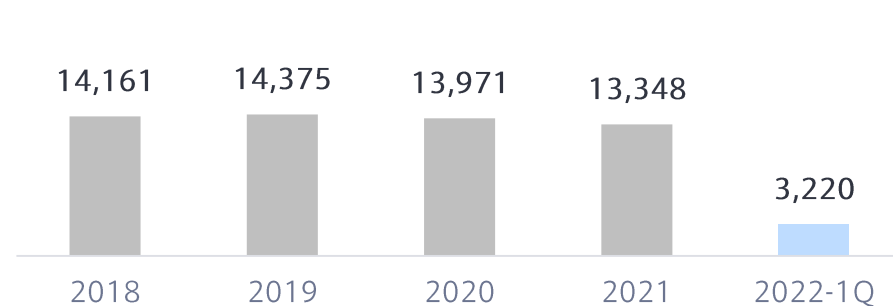
単位：百万円

連結	2022年度 1Q(4-6月)	前年差
設備投資	13,574	+11,881
減価償却費	3,220	+23

連結設備投資



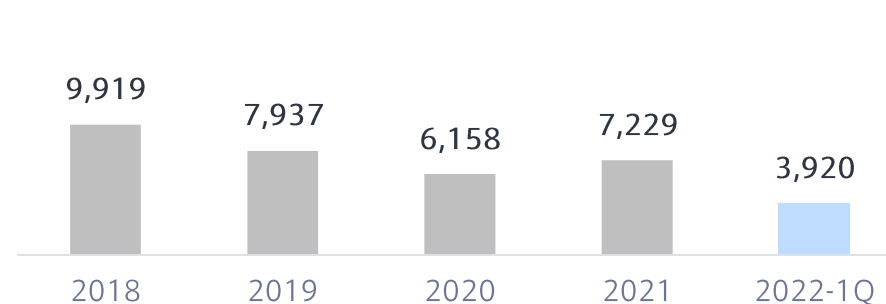
連結減価償却費



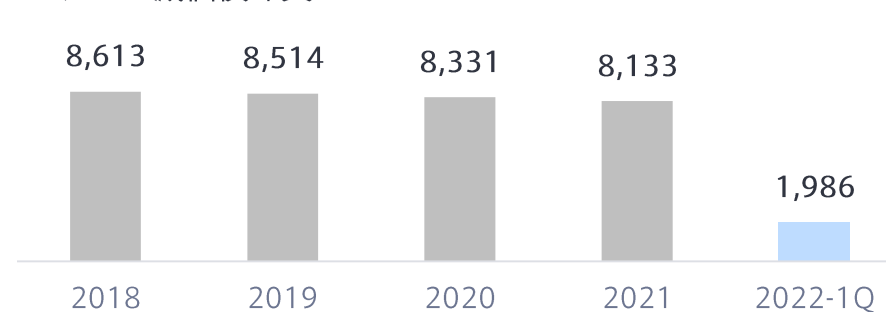
単位：百万円

TBSテレビ	2022年度 1Q(4-6月)	前年差
設備投資	3,920	+2,956
減価償却費	1,986	+63

TBSテレビ設備投資



TBSテレビ減価償却費



▶ テレビ部門のタイム・スポット収入が減収したものの、配信事業や事業部門が伸長し増収。番組制作費の増加等により減益。

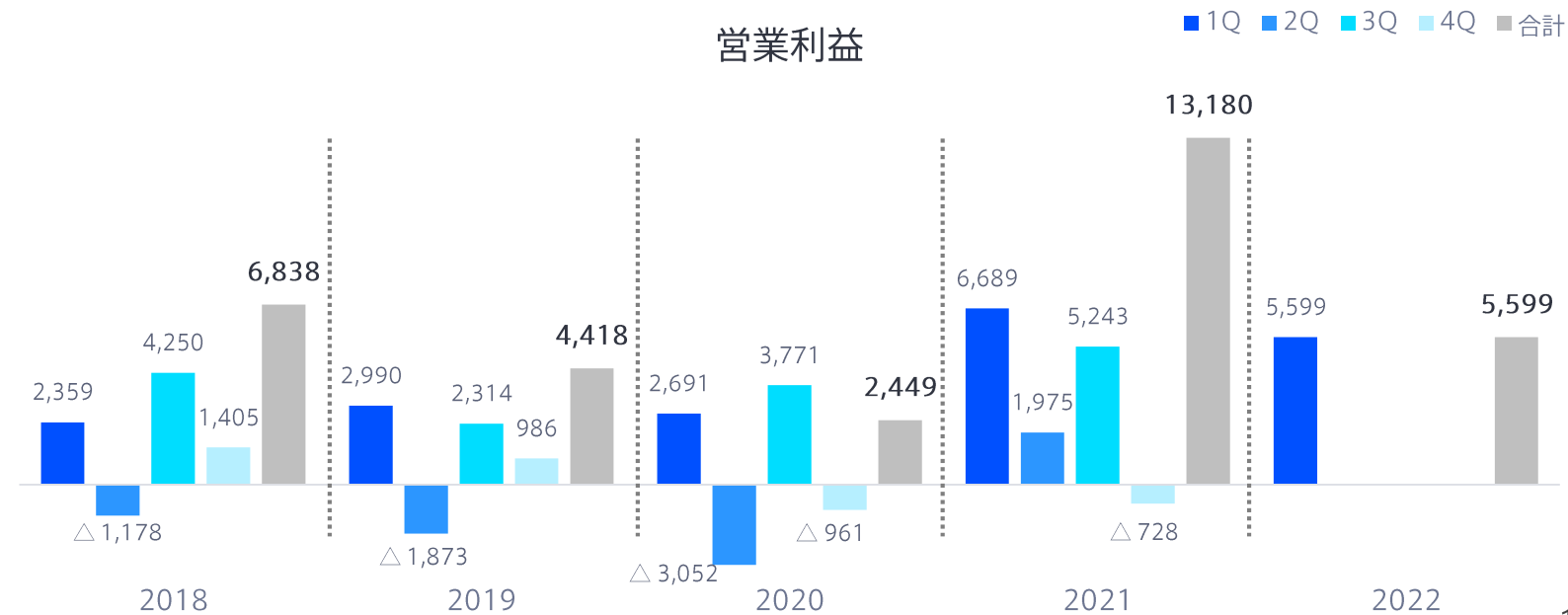
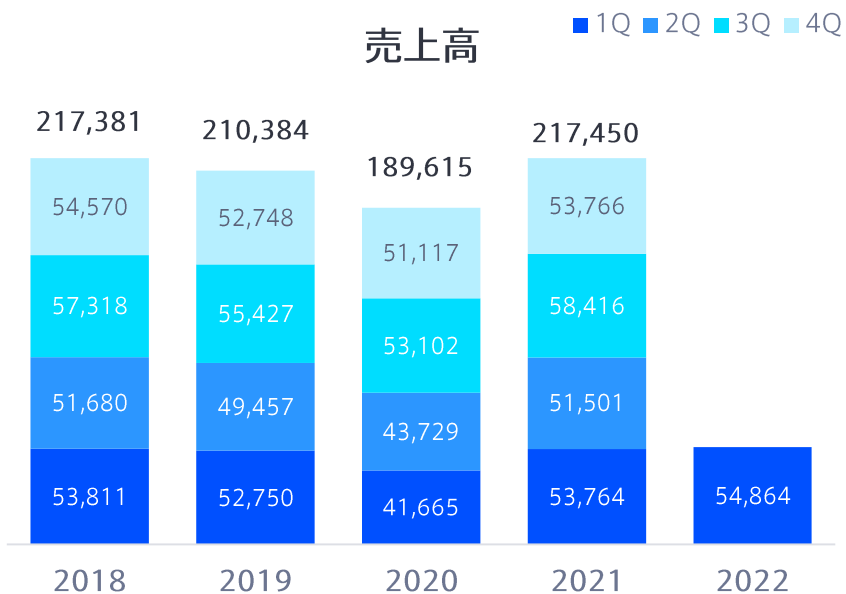
(単位：百万円)

TBSテレビ	2021年度 1Q(4-6月)	2022年度 1Q(4-6月)	前年差	増減率
売上高	53,764	54,864	+1,099	+2.0%
営業利益	6,689	5,599	△1,089	△16.3%
経常利益	7,439	6,568	△871	△11.7%
四半期純利益	5,650	4,651	△999	△17.7%

営業費用等

- 番組原価 + 587
- 代理店手数料 △ 109 (今期6,667)
- ネットワーク費 △ 121
- 事業部門営業費用 + 670

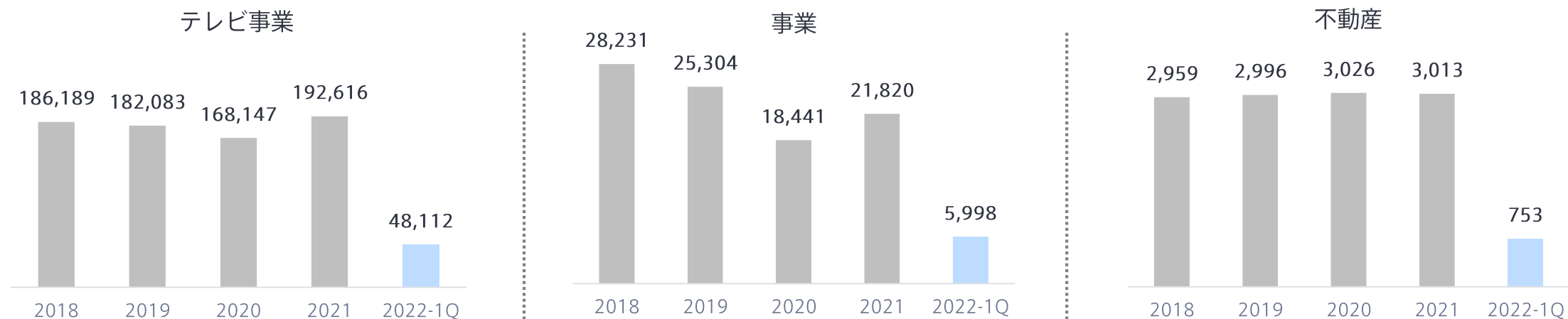
特別利益 (投資有価証券売却益) 533
 特別損失 (投資有価証券評価損) 22



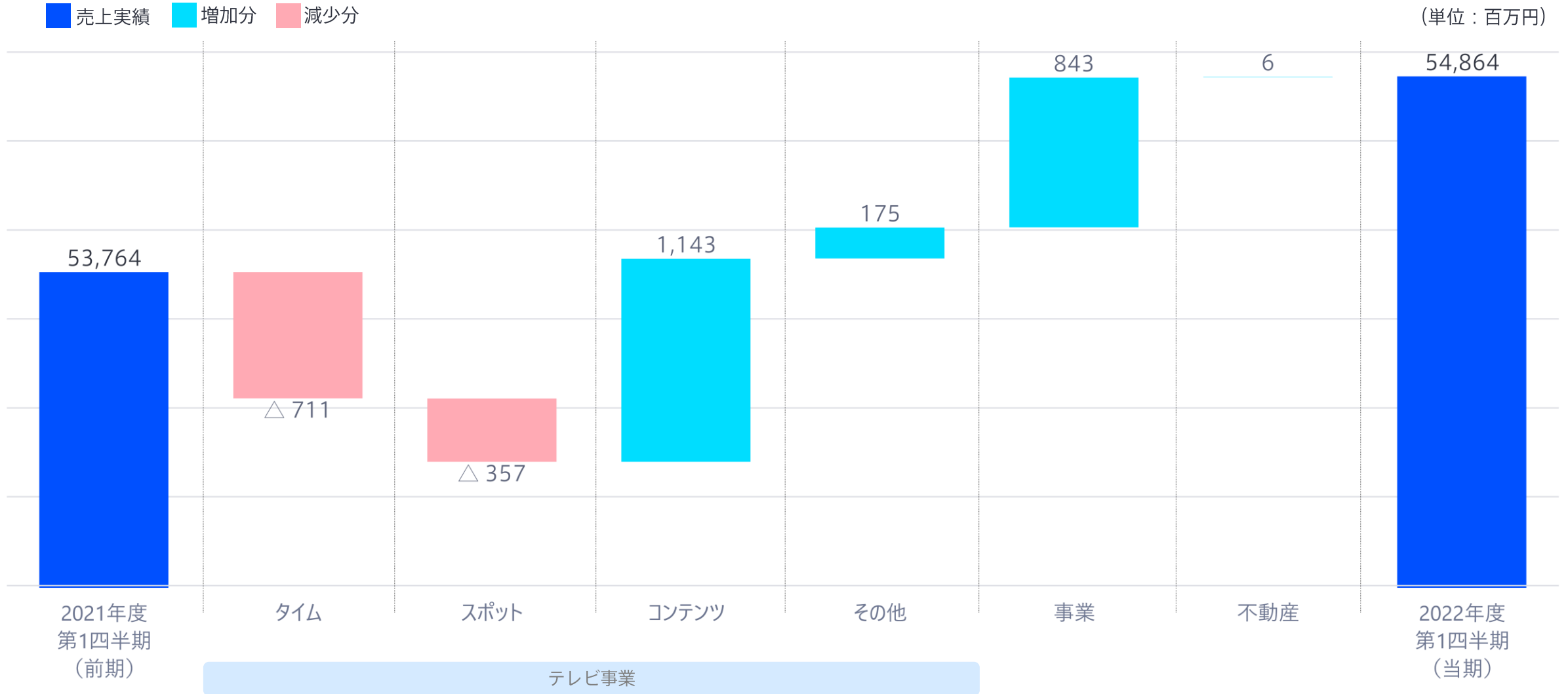
(単位：百万円)

	2022年度 1Q (4-6月)	前年差
テレビ事業	48,112	+249
(タイム)	19,565	△711
(スポット)	21,508	△357
(コンテンツ)	5,820	+1,143
(その他)	1,217	+175
事業 ※	5,998	+843
不動産	753	+6
収入合計	54,864	+1,099

※2021年7月より事業部門にあった海外番販事業の一部をコンテンツに移管。



▶ テレビ部門のタイム・スポット収入が減収となったものの、配信事業や事業部門の収入が伸長し増収。



テレビ番組原価（制作費）

第1四半期は、新ファミリーコア視聴率向上のための強化によりやや増加。通期見込みは変更なし。

	2021年度実績	2022年度実績	前年差
第1四半期	22,631	23,218	+587
(地上波直接費)	17,636	18,214	+578
(その他直接費及び間接費)	4,995	5,004	+9
第2四半期	23,580	—	—
第3四半期	24,769	—	—
第4四半期	25,168	—	—
通期累計	96,149	96,435	+286
(地上波直接費)	75,710	75,868	+158
(その他直接費及び間接費)	20,439	20,567	+127

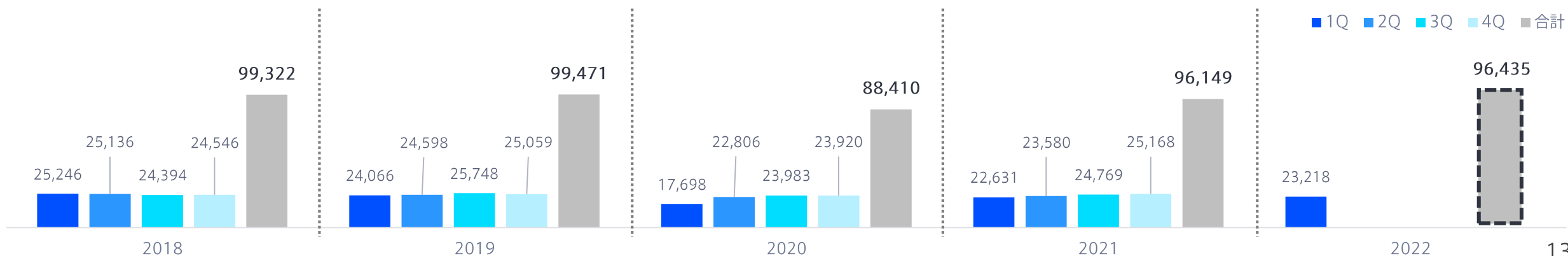
(単位：百万円)

テレビ番組原価に含まれる主な費用

地上波直接費：
番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費

その他直接費および間接費：
地上波以外の直接費、
減価償却費・社員人件費等の配賦原価

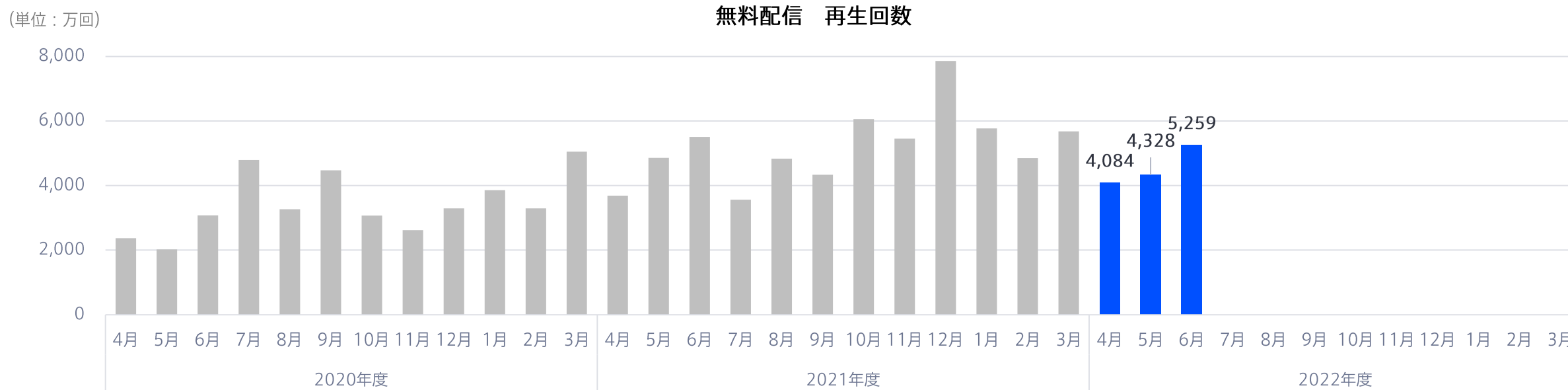
※点線内の通期累計および内訳は、すべて見込みです。



▶ 無料配信は、前年好調であったドラマの反動で、再生回数、UB数ともに微減。しかし、精密機器関連の発注増大などによりセルスルー率が向上して増収。
 有料配信は、Paraviなど国内配信と海外配信（Netflix「未来日記」、Disney+「マイファミリー」など）により増収。

(再生回数、ユニークブラウザ数はビデオリサーチ調べ)		2022年度第1四半期 前年増減率
無料配信収入 (TVer・TBS FREE・GYAO!など)		+53.0%
再生回数		△2.7%
UB (ユニークブラウザ) 数*		△1.4%
有料配信収入		+36.0%

* 端末ごとの重複のないユーザー数



「スターズ・オン・アイス」や特別展「宝石 地球がうみだすキセキ」等の催事・興行が好調であったこと、映画では「99.9-刑事専門弁護士-THE MOVIE」のヒットや、アニメでは映画「五等分の花嫁」のヒットに加え、「プラチナエンド」の番販収入も好調で、事業部門全体では増収増益。

(単位：百万円)

部 門	2022年度 1Q (4-6月)	前年差	主な増減要因
事業 (催事・興行)	1,804	+447	「スターズ・オン・アイス」や特別展「宝石 地球がうみだすキセキ」が好調。
映画	455	+268	「99.9-刑事専門弁護士-THE MOVIE」のヒットにより増収。
アニメ	753	+568	映画「五等分の花嫁」のヒットに加え、「プラチナエンド」の番販収入が好調。
海外ビジネスセンター (旧：海外事業)	501	△169	フォーマット販売は復調傾向だったものの、一部の事業をテレビ部門へ移管したため減収。 ※2021年7月より海外番販事業の一部をコンテンツに移管
メディア事業	2,094	△141	CS事業は加入件数の減少により減収。
マーチャндаイジングセンター (旧：ライセンス事業)	389	△130	DVD販売において、新譜「99.9完全新作SP」等が貢献するも、前年度の「沢田研二」、「この恋あたためますか」等の反動減により減収。
収入計	5,998	+843	
事業部門営業費用	4,873	+670	
部門利益	1,124	+173	

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2021年度 1Q(4-6月)	2022年度 1Q(4-6月)	前年差	2021年度 1Q(4-6月)	2022年度 1Q(4-6月)	前年差	
TBSラジオ	2,042	2,021	△20	126	110	△16	タイム収入が落ち込んだことにより、減収減益。
BS-TBS	3,867	4,191	+324	600	741	+141	タイム収入、スポット収入の増収に加え配信が好調なことにより、増収増益。
TBS グロウディア	6,612	6,024	△588	36	△185	△222	ショッピング部門売上、DVD販売の減少により、減収減益。
日音	2,123	1,950	△172	175	169	△5	邦楽、洋楽収入が落ち込んだことにより、減収減益。
TCエンタ テインメント	1,966	1,788	△177	245	103	△142	DVD販売の減少により、減収減益。

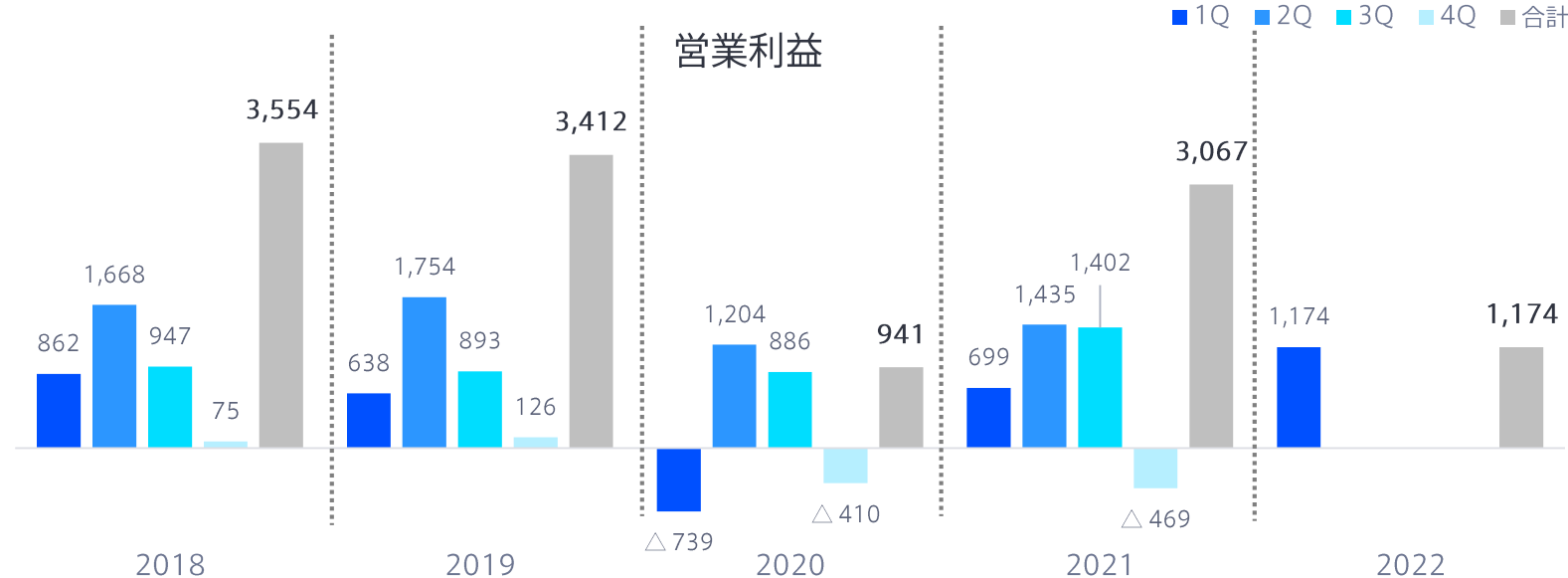
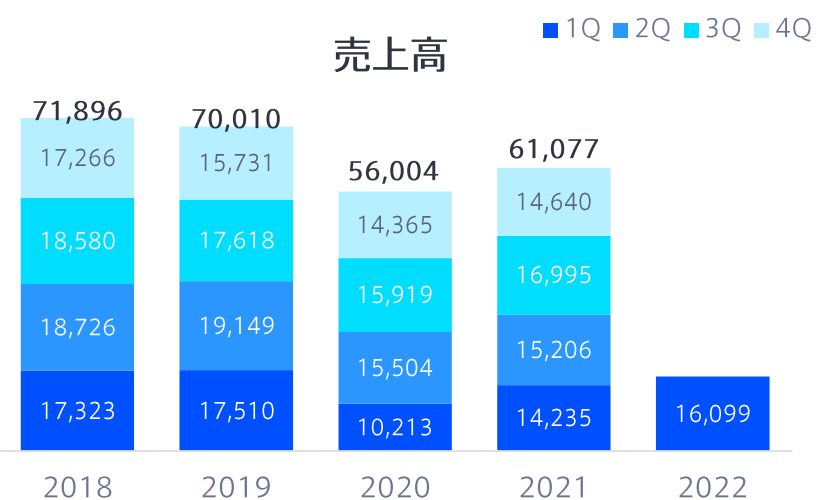
▶ 雑貨小売販売事業は、感染症に伴う自粛要請解除による人流回復等により増収増益。通信販売事業は、前年好調であった受注の落ち着きにより減収。ビューティ&ウェルネス事業は、国内、海外ともにやや苦戦し微減収。グループ全体では雑貨小売販売事業の影響が大きく増収増益。

(単位：百万円)

(単位：百万円)

連結	2021年度 1Q (4-6月)	2022年度 1Q (4-6月)	前年差
売上高	14,235	16,099	+1,864
営業利益	699	1,174	+475

事業別	売上高(※)		
	2021年度 1Q (4月-6月)	2022年度 1Q (4月-6月)	前年差
雑貨小売販売事業	6,721	8,677	+1,955
通信販売事業	4,437	4,341	△95
ビューティ&ウェルネス事業	3,172	3,157	△14
本社およびその他	△96	△77	+18
計	14,235	16,099	+1,864



※事業別の売上高は管理会計上の数値

2022年度 第1四半期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

2022年度 連結業績予想

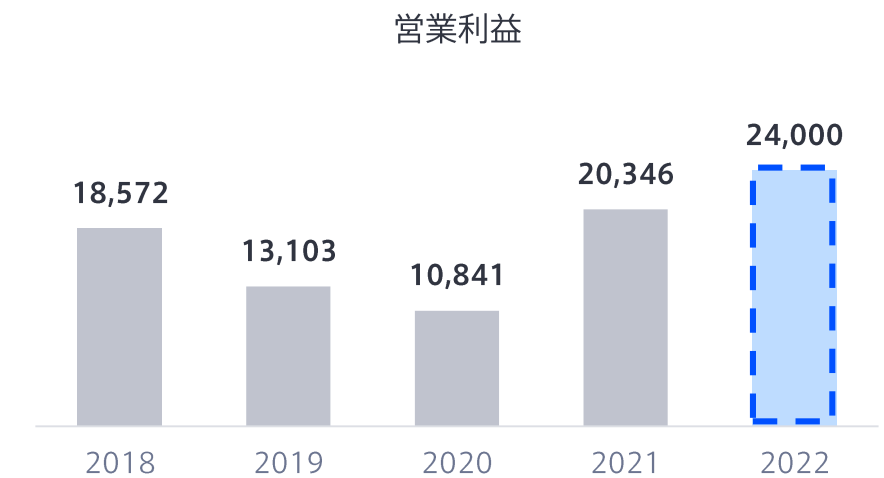
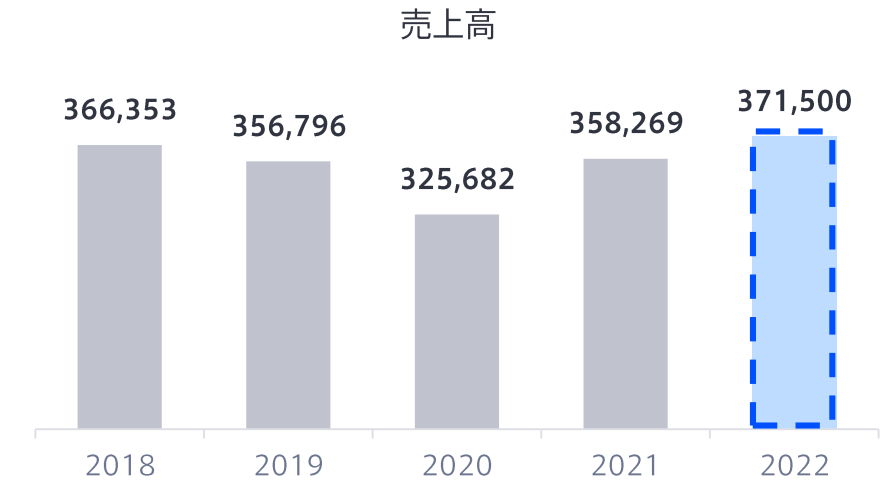
▶ 連結業績予想は2021年度決算発表時より変更なし。

(単位：百万円)

連 結	2021年度 実績	2022年度 予想	前年差
売 上 高	358,269	371,500	+13,230
営 業 利 益	20,346	24,000	+3,653
経 常 利 益	30,707	35,500	+4,792
親会社株主に帰属する 当期純利益	32,008	22,900	△9,108

(単位：百万円)

セグメント別予想	売上高			営業利益		
	2021年度 実績	2022年度 予想	前年差	2021年度 実績	2022年度 予想	前年差
メディア・コンテンツ	281,414	291,400	+9,985	10,933	14,300	+3,366
ライフスタイル	61,023	63,700	+2,676	2,362	2,400	+37
不動産・その他	15,831	16,400	+568	7,062	7,300	+237
調整額	—	—	—	△11	—	+11
連 結	358,269	371,500	+13,230	20,346	24,000	+3,653

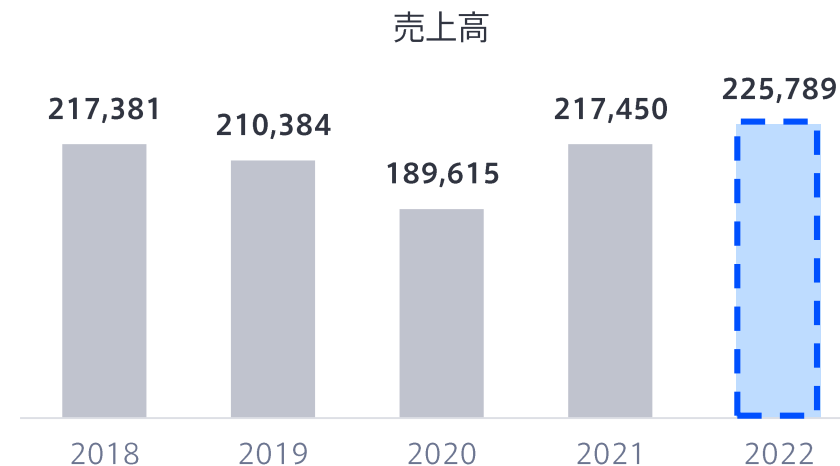


2022年度 TBSテレビ業績予想

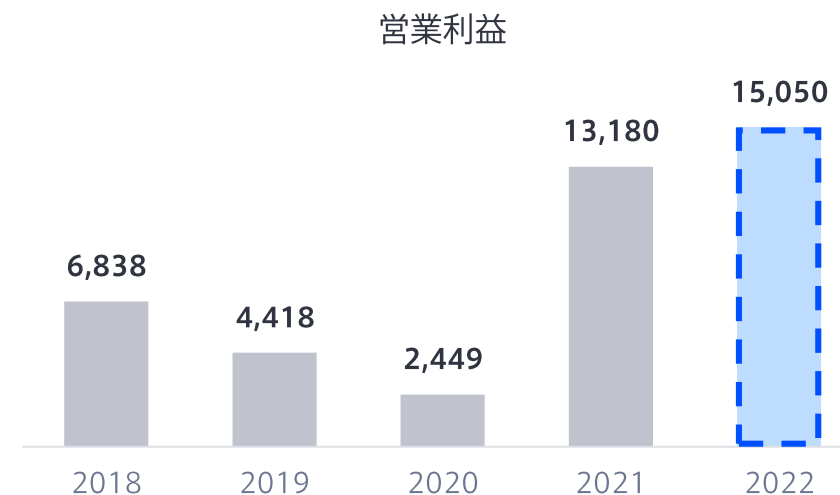
▶ TBSテレビ業績予想は2021年度決算発表時より変更なし。

(単位：百万円)

TBSテレビ	2021年度 実績	2022年度 予想	前年差
売上高	217,450	225,789	+8,339
営業利益	13,180	15,050	+1,870
経常利益	15,328	17,407	+2,079
当期純利益	16,233	11,903	△4,330



	2021年度 実績	2022年度 予想	前年差	前年比
タイム	81,831	81,890	+59	+0.1%
スポット	84,559	86,250	+1,691	+2.0%
番組原価	96,149	96,435	+286	+0.3%



2022年度 第1四半期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点戦略

参考資料

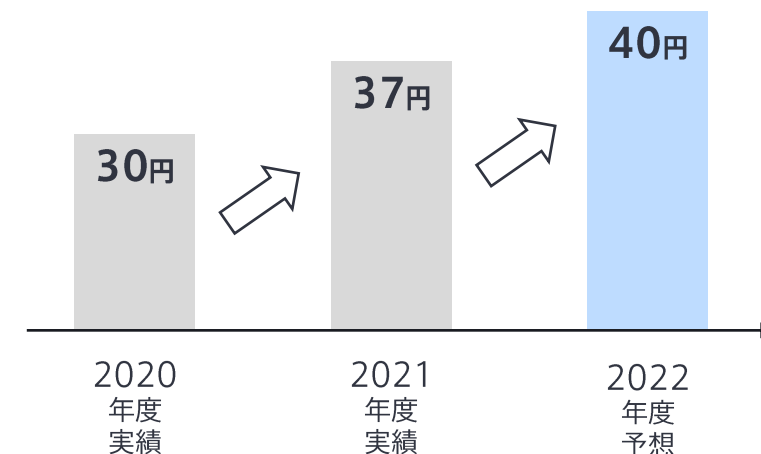
配当方針と年間配当予想

基本方針	株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、連結ベースの配当性向30%を目処としつつ、安定的かつ継続的な配当を基本とする。業績伸長等の際には、特別配当等により還元の充実に努める。自己株取得は、これまで通り機動的に検討する。
-------------	--

中計2023 配当方針	1株当たり30円を下限とする。 ただし、2期連続で当期利益を生まなかった場合は、下限配当金を見直すことがある。
------------------------	--

	1株当たり配当金 (円)			配当性向 (%)	特殊な要因 (★) の影響を除いた配当性向 (%)
	第2四半期末	期末	年間		
2017年度	15	15	30	30.5	30.5
2018年度	16	17	33	22.9	31.7
2019年度	13	17	30	17.3	43.0
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度 (予想)	20	20	40	29.4	—

(★) 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付けております。



▶ 2021年度は7円増配の37円を実施。2022年度は3円増配の40円を予想。引き続き、安定的かつ継続的な配当を実施。

2022年度 第1四半期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

	2022年度 第1四半期 前年増減率
無料配信収入	+53.0%
再生回数	△2.7%
ユニークブラウザ数 (端末ごとの重複のないユーザー数)	△1.4%

※再生回数、ユニークブラウザ数はビデオリサーチ調べ

- 再生回数、UB数は前年より微減。
- 精密機器関連の発注増大などにより、**セルスルー率が向上**。

※2022/4/18スタート	2022年度 第1四半期 前年増減率
ニュースのデジタル配信収入 <small>※TBS・JNN NEWS DIG合同会社の収入</small>	+84%
パートナーPFの配信PV・再生数	+23%

*パートナーPF

Yahoo!ニュース、YouTube、Twitter、TikTok、SmartNews、グノシー、ニュースパス、auサービスToday、LINE NEWS、NewsDigest、ニューススイート、@nifty、BIGLOBE、Excite、UQライフ、ノアドット、MSNニュース、NewsPicks、dメニュー、goo、等(順不同)

- 外部販売、広告収益ともに好調。
- 「TBS NEWS DIG Powered by JNN」(JNN系列28局の統合ニュースサイト)
⇒2022年7月に月間**1.2億PV**を突破。
⇒旧 TBS NEWSサイト 1-3月の平均約1,600万PVの**7.5倍以上**。
(GoogleAnalytics 調べ/newsdigドメイン合計・外部PV含まず)

TBS系リアルタイム配信

見たい場所で、見たい番組を、いつでも見られる
新しいユーザー体験で、最高の“時”をお届けします！

2022年4月11日(月)より
プライムタイムの番組を中心にTVerにて配信中
セールスに関しては、9月末までトライアルセールス

TBS初

地上波放送に先駆けて1週間前に先行配信

地上波放送を見た視聴者がすぐに次のエピソードを有料配信で視聴できる

深夜ドラマ枠「ドラマストリーム」



第1弾「村井の恋」



第2弾「理想ノカレシ」



第3弾「パパとムスメの7日間」

▶ 認知度の向上に伴って、好調に推移



「Paris Saint-Germain JAPAN TOUR 2022」



▶ Paravi独占配信 (7/23.25)

➡新規会員獲得へ大きく前進

Netflix

全世界独占配信

「離婚しようよ」

オリジナルドラマ / 2023年配信開始予定



順調に撮影終了

Amazon Prime Video

全世界独占配信

「復活！風雲！たけし城（仮題）」

視聴者参加型アクション系バラエティ / 2023年配信開始予定



7/16より撮影開始

日韓合同アイドルボーイズバンド結成プロジェクト 「THE IDOL BAND : BOY's BATTLE」



世界中の音楽シーンをリードする実力とビジュアル、ユニークな楽器パフォーマンスを兼ね備えたボーイズバンドを探すオーディション番組。

TBSとアイドルバンドの名門FNC ENTERTAINMENTが企画。

SBS Medianetが制作する番組で、TBSと韓国のSBS M、SBS FiLで放送。



MCの2人
(左)ロウン (SF9)
(右)矢吹奈子(HKT48)

©FNC ENTERTAINMENT

©Vernalossom

(株)K-BALLETへの出資 および業務提携契約を締結



(左) 熊川哲也社長
(K-BALLET)

- (株)K-BALLET の発行済株式のうち32.1%を取得
- TBS主催公演におけるグローバル展開を含めた更なる成長支援
- Kバレエスクールを通じた知育・教育事業の促進
- 海外（特にアジア地域）公演事業とスクール事業の多拠点展開
- 新事業への取組
Kバレエ × TBSライフスタイル事業（PLAZAなど）

(株)The Chain Museum への出資 および業務提携契約を締結



(右) 遠山正道CEO
(左) 伊藤直樹CCO
(The Chain Museum)

- アート・コミュニケーションプラットフォーム「ArtSticker」を開発・運営する(株)The Chain Museumへの出資と業務提携を通じて、アート領域での事業開発を目指す
- アート作品そのものやアーティストからの視点の取入れによるコンテンツクリエイティブの革新
- アート・エクスペリエンスの提供
- アートを用いた知育・教育関連の事業開発、人材の開発
- 赤坂エンタテイメント・シティ計画実現に向け、新しい街づくりについて協議

●今後の主なラインアップ

※2022/8/4現在 感染症拡大の影響や緊急事態宣言、まん延防止等重点措置による要請等で変更の可能性があることをお含みください。

	期間	タイトル	備考
映画	2022/5/20公開	映画「五等分の花嫁」	配給：ポニーキャニオン
	2022/8/26公開	「異動辞令は音楽隊！」	配給：GAGA
	2022/12/9公開	「ラーゲリより愛を込めて」	配給：東宝
	2023年公開	「わたしの幸せな結婚」	配給：東宝
	2023年公開	「劇場版TOKYO MER ~走る緊急救命室~」	配給：東宝
興行	2022/7/8-	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2022/7/23-8/28	DINO-A-LIVE PREMIUM TIME DIVER 夏休みスペシャル	IHIステージアラウンド東京
	2022/7/25-8/10	ミュージカル「BE MORE CHILL (ビー・モア・チル)」	新国立劇場 中劇場
	2022/8/11-28	ブロードウェイミュージカル「コーラスライン」	Bunkamura オーチャードホール
	2022/9/3-18	野鴨—Vildanden—	世田谷パブリックシアター
	2022/10/8-30	閃光ばなし	東京建物 Brillia HALL
	2022/10/26-30	熊川哲也 Kバレエカンパニー Autumn Tour 2022 『クレオパトラ』	Bunkamura オーチャードホール
	2022/12	ブロードウェイミュージカル「シカゴ」	東京国際フォーラム・ホールC
	2023年上演	新作歌舞伎 ファイナルファンタジーX	IHIステージアラウンド東京
催事	2022/6/18-9/27	ブルーピリオド展	寺田倉庫G1ビル
	2022/7/16-9/25	ルートヴィヒ美術館展 20世紀美術の軌跡—市民が創った珠玉のコレクション	国立新美術館

PLAZASTYLE

夏を快適に♪

「PEANUTS」のCOOLな新作アイテム！

暑い中でも快適に過ごせるひんやり便利グッズや、冷たいスイーツ&ドリンクが楽しめるちゃうツールなど、初夏が楽しくなるCOOLアイテムが勢ぞろいしました。



Vintage
PEANUTS™
© 2022 Peanuts Worldwide LLC
www.snoopy.co.jp

あなたの街にPLAZAがやってくる！

PLAZA
PERIE
IMAGE
OPEN
2022.6.24 FRI.

PLAZA
ATRE
MATSUDO
OPEN
2022.4.8 FRI.

PLAZA
AEONMALL
KAWAGUCHI
MAEKAWA
MOVE &
RENEWAL
2022.4.22 FRI.



■PLAZA錦糸町テルミナ2店
9月30日（金）OPEN予定

2022年度 第1四半期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年 3月末	2022年 6月末	比較		2022年 3月末	2022年 6月末	比較
流動 資産	198,692	197,956	△736	流動 負債	75,592	81,965	+6,373
				固定 負債	243,037	192,530	△50,507
				負債 合計	318,629	274,495	△44,133
固定 資産	1,002,939	853,481	△149,457	純資産 合計	883,002	776,942	△106,059
				自己 資本	868,455	762,175	△106,279
				非支配 株主持分	14,547	14,766	+219
資産 合計	1,201,632	1,051,438	△150,193	負債 純資産 合計	1,201,632	1,051,438	△150,193

期末有利子負債残高： 260億円 (前期末比 増減なし)

※リース債務は除く

新ファミリーコア視聴率 (4~49歳)

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③1.5 [△0.1]	③3.0 [△0.3]	③2.9 [△0.4]	③1.1 [0.0]
日本テレビ	①2.7	①4.9	①4.6	①2.2
テレビ朝日	④1.3	④2.3	④2.4	④0.9
テレビ東京	⑥0.5	⑥1.5	⑤1.4	⑥0.3
フジテレビ	②1.7	②3.1	②3.0	②1.4
NHK	⑤0.7	⑤1.6	⑤1.4	⑤0.5
PUT	9.7 [△1.3]	18.1 [△2.5]	17.2 [△2.4]	7.5 [△1.1]

(2022/4/4～7/3：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	④ 2.7 [△0.2]	④ 4.1 [△0.4]	④ 4.0 [△0.5]	③ 2.4 [△0.1]
日本テレビ	①3.5	①5.7	①5.3	①3.0
テレビ朝日	①3.5	③5.2	②5.2	①3.0
テレビ東京	⑥1.2	⑥3.2	⑥2.8	⑥0.8
フジテレビ	⑤2.5	⑤3.8	⑤3.8	⑤2.1
NHK	③2.8	②5.4	③4.7	④2.3
PUT	19.5 [△2.1]	32.4 [△3.3]	30.4 [△3.1]	16.4 [△1.9]

(2022/4/4～7/3：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

TBSテレビ タイム・スポット収入 対前年比

TBS

(単位：百万円)

	タイム			スポット				備 考
	2022年度	前年差	増減率	2022年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	7,036	△193	△2.7%	7,380	+216	+3.0%	△0.3%	タイムレギュラーセールスで減収。
5月	6,560	△166	△2.5%	7,200	△271	△3.6%	△3.9%	
6月	5,968	△351	△5.6%	6,927	△302	△4.2%	△12.7%	ウクライナ情勢や原材料費の高騰などに起因し、スポットの地区投下量低調。
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								

1Q	19,565	△711	△3.5%	21,508	△357	△1.6%	△5.6%	
2Q								
3Q								
4Q								
通期	19,565	△711	△3.5%	21,508	△357	△1.6%	△5.6%	

●スポット5局シェア（推計） 四半期推移

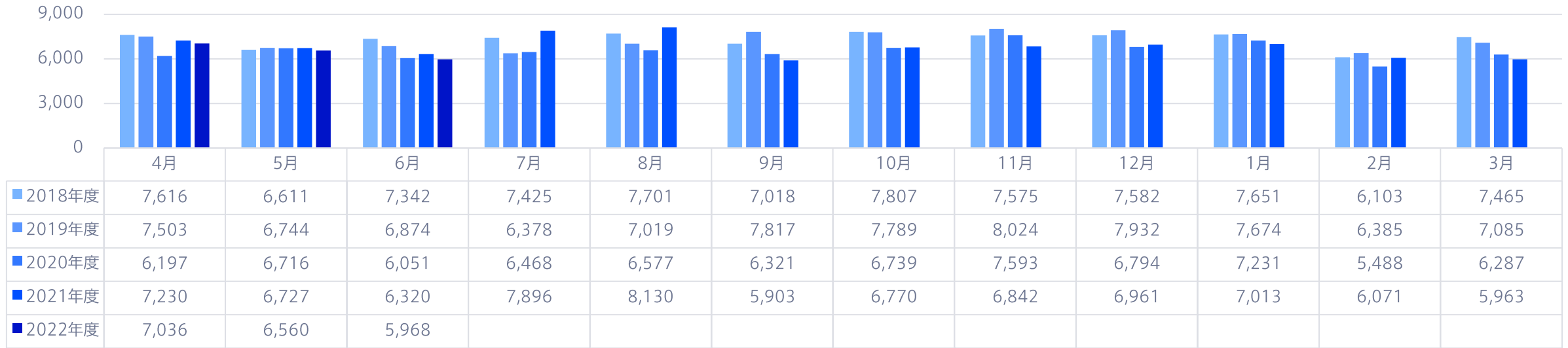
(単位：%)

2018年度 19.1% (累計)				2019年度 19.3% (累計)				2020年度 19.7% (累計)				2021年度 20.1% (累計)				2022年度 21.2% (累計)			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
19.3	19.2	18.7	19.1	20.2	19.2	19.0	18.9	20.5	20.2	19.4	19.3	20.4	20.3	19.7	20.0	21.2			

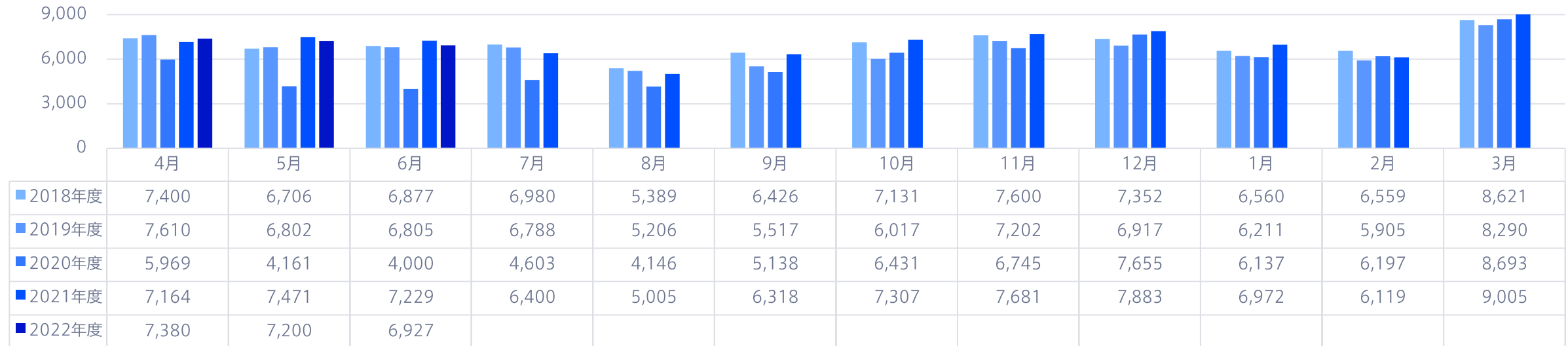
TBSテレビ タイム・スポット収入 経年推移

(単位：百万円)

●タイム収入



●スポット収入



(単位：%)

	1Q (4-6月)	増減率	シェア	前年同期	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	△12.4	15.4	情報・通信・放送	+88.0	17.2
2	酒・飲料	+0.5	13.8	酒・飲料	+53.6	13.5
3	食品	△5.2	9.5	食品	+11.0	9.8
4	外食・サービス	+23.9	8.6	化粧品・トイレットリー	+47.4	7.5
5	医薬品	+2.0	7.6	医薬品	+8.5	7.3
6	精密機器・事務機	+31.0	5.4	外食・サービス	+99.8	6.9
7	金融	+13.4	5.1	交通・レジャー	+60.9	4.5
8	交通・レジャー	+2.0	4.6	金融	+96.7	4.4
9	化粧品・トイレットリー	△42.1	4.4	精密機器・事務機	+90.6	4.1
10	エンターテインメント・趣味	+0.8	4.1	エンターテインメント・趣味	+147.7	4.0

※ 順位は金額順

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他 (1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ (13社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) CS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) TBSアクト

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント (株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE Factory

2022年8月1日より (株)THE SEVEN に商号変更

ライフスタイル(3社)

(株) スタイリングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) ライトアップショッピングクラブ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給 (株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(4社)

(株) プレースホルダ

(株) プレミアム・プラットフォーム・ジャパン

(株) WOWOW

碧芯珞(上海)化粧品有限公司 / BCL China Inc.